



Learning Teachers' Forum ~英語を教えるすべての人へ~

Column 1 徹底分析に基づくテスト対策 ポイントをしぼったレッスンを提供

神奈川県横浜市で、英会話学校「英会話フォービー」の代表を務める番場直之さん。英会話は外国人講師が教え、番場さんは学校のマネジメントも行いながらTOEICテストの直前対策講座を担当している。「TOEICのスコアは『英語力』+『受験力』と言われますが、この講座では『受験力』を鍛えることを目的としています」と話す番場さん。教材には、番場さん自身の25回以上に及ぶTOEICテスト受験に基づく分析、そして市販教材の詳細な分析から作成したオリジナルテキストを使用している。

特にタイムマネジメントに力を入れ、そのための演習を中心にやっているとのことだ。「受講生の皆様に何かしらの驚きを与えたいと思っています。たとえば、パワーポイントでトレーニング用のプレゼンテーション資料を作ったり、外国人講師の声を録音した音声ファイルを作ったりしています」と、得意のコンピュータを駆使した授業を行っている。「タイムマネジメントが重要なTOEICに対応メ

できる力を養うため、Part 5(文法・語彙問題)対策では、問題ごとに20秒や30秒が経過すると自動的に次の問題に進んでしまうパワーポイント資料を使うことで、時間の感覚を身につけられるようにしています」と、様々な工夫をしている。

徹底的なテスト分析に基づき、出題傾向をおさえたタイムマネジメント力をつける授業。これにより、テスト直前にも効果があるテスト対策が可能となり、テストを控えた受講生の心強い味方となっている。



番場直之さん
英会話フォービー代表

Column 2 コミュニケーションによる情報共有 受講生と講師を伸ばすために

大学卒業後、システムエンジニアとして5年、ビジネスコンサルタントとして5年半の勤務を経験し、休職して2年間、大学院生として経営学を学んだ番場さん。10年間通っていた英会話学校が倒産し、一括で支払っていたレッスン料が戻ってこないという経験をした。「平日夜遅くまでやっていて、ビジネス英語も学べ、レッスン料金が戻ってこなくなる心配がない英会話学校があればよいのに」と、自ら当日支払制の学校を設立した。

英語教師になって感じたことは何だろうか。「レッスンのコンテンツは自分が作り、自信があるものですし、受講生の皆様がその中から新たな発見をし、実力を高めていく姿を見られることがとても楽しいです」と話す。英語教師として必要なのは、相手のメ

話をよく聞き、何を求めているかを理解する力、つまり「コミュニケーション能力」だと話す番場さん。「どんなレッスンをすれば受講生の方々の英語力が伸びるか、何をすればうちの講師が成長するかをいつも考えています」とのこと。レッスンに役立つ受講生情報を講師全員で共有しているほか、毎月講師との面談を行い受講生の満足度などをレポートとしてまとめ、よりよい授業を提供するために徹底したコミュニケーションを図っているという。それにより、受講生・講師の両方が伸びている。受講生が伸びることで講師も伸び、講師が伸びることで受講生が伸びる「スパイラル」となっている。



編：中井俊樹 価格：2,380円(税込)

大学の先生、英語で授業ができますか？

英語で授業シリーズ① 大学教員のための教室英語表現300

日本国内の大学では「英語で行う授業」が増えています。本書は、英語で効果的な授業を行うためのポイントを解説し、「質問・発言を促す」「ディスカッションをリードする」など、大学での授業シーンに即した300の英文フレーズをまとめた実践的のハンドブックです。付属CDには例文の音声すべて収録されています。

詳細はコチラから ▶▶ <http://shop.alc.co.jp>